

障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会

～しる・つながる・ひろげる～

【実践報告①： 静山園 酒井成美氏】



1人の利用者さんの作品が展示や出展など、どのように展開していくのか具体にお話いただきました。

【実践報告②： アートリンクうちのあかり 安藤郁子氏】



ひとりひとりの創作・表現を紹介してもらい、関係性や対話から表現が生まれてくることを伝えていただきました。

【実践報告③： もうひとつの美術館 梶原紀子氏】



美術館を設立した当時から現在までのお話。栃木県の現状についてもお話いただきました。

【パネルディスカッション】



3名でのパネルディスカッション。事業を始める、きっかけや表現者として彼らの創作・表現に出会った時の感覚などお話いただきました。

【グループワーク】



自己紹介の前に今日の自分の「きもち」を表現しました。



今日の自分の「きもち」をお話してから、自己紹介。名前だけを聞くより、ずっと距離が近くなった気がします。



事業所で行っている活動や、自分の感じていることをピンクの付せんに書きだして、グループで共有し、整理しました。



水色の付せんには、事業所でやりたいことや社会にあればいいと思うモノ・コト・場所を書きだして、どうしたら実現できるかアイデアを出し合いました。



グループで話した内容を発表。「作品や表現の魅力を広く社会に知ってもらおう」「職員の意識を変える」「地域との交流や施設間交流が必要」さまざまなアイデアが出ました。